



こぶしの里松ヶ原だより

2026年4月1日 NO. 49

支え合いながら、人を大切にするまちに！

新学期を迎える四月。松ヶ原地区の小学生が五名になり、スクールタクシーも今年から二台になると聞き、うれしくなりました。高齢化、過疎化が進む中、地域に子どもが増えることはなんとも喜ばしいことです。ところで、これらの子ども達に、私達のまちは、どのように映っているのでしょうか？

耳をすませば、鶯のさえずりが聞こえ、四季の移り変わりを五感で感じることが出来る豊かな自然に囲まれたまち！だけれど、自然の恵みだけではなく、そこに住んでいる人々の営みやつながりがあり、小さなまちだけれど、多くの人で支え合っています。各種役員もですが、こぶしの里やサロン会のスタッフやボランティアさん方。神社や松ヶ原墓地の清掃など、まちのためにと頑張る人がたくさんおられます。これらは、諸先輩から受け継いできたことです。これからも形を変えながらも、つながりや人を大切にしていくなかでありたい、若い人達や子ども達にも引き継いでもらいたいと願います。

だいがうで 餅つき！ 百人の笑顔！

三月十四日、今年も松ヶ原子ども館と共催で餅つきを行いました。この日は、幸い暖かい日で、餅つきを楽しみに来られた人たちもゆっくり過ごしておられました。会場は美味しさと楽しさの笑顔でいっぱいでした。「杵と臼の餅つきはよく見るけど、だいがらの餅つきは、初めて見ました。」と、珍しくて人気です。東田さんの説明も流暢でした。リピーターの人、松美園やふきのとうの皆さんも参加して下さり良かったです。お手伝いの皆様、ありがとうございました。

四月のイベント案内

◆初めてのストーンアート講座◆

大竹市内のあちこちに、元松ヶ原小学校にもあるストーンアート。それらは、二十年前から大竹市暴力監視追放協議会や市民グループ「E.T.O」の会などが中心になつて設置されたものだそうです。石にも、絵にもメッセージを感じます。

この講座は、手のひらに乗るサイズの小さな石に、石の形を生かしたり、イメージを膨らませたりして自由に楽しく、絵を描いて、マイストーンアートを作ろう！というものです。小さいお子さんから大人までどなたでも楽しめます。

四月十一日（土） 十時半～十二時

場所 集会所 参加費 百円

持ち物 汚れてもよい服装で

講師 清古尊さん（チョキサウルス協会）

ゲスト 長澤靖さん（画家・陶芸家）

予約申し込みは、四月九日（木）までに

平野までお願いいたします。（先着二十名）

◆お助けマン包丁研磨◆

四月十八日（土） 十時～十三時

恒例の包丁等研磨を今年も行います。（都合により、前号でお知らせしていた日にちを変更しています。）時間内にできない場合、お預かりして後日お渡しということもあります。また、こぶしの里松ヶ原への寄付として研磨料（一本百円）を徴収させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

